

「はかた地どり」、「はかた一番どり」の 遺伝資源保存技術の開発

背景

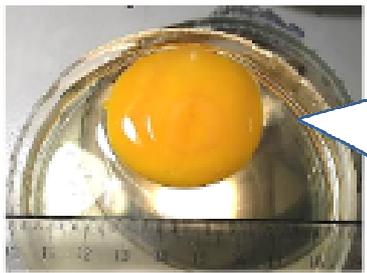
「はかた地どり」、「はかた一番どり」は、家畜伝染病発生等によって原種鶏（横斑プリマスロック、シャモ）の遺伝資源が失われるリスクがありました。

成果の内容

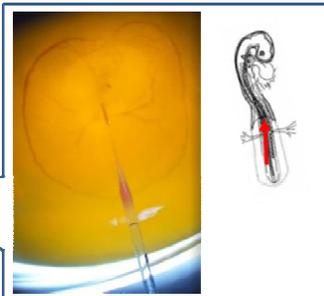
横斑プリマスロック、シャモの種卵から始原生殖細胞を採取、凍結保存することで県産ブランド鶏の遺伝資源を保存する技術を開発しました。

始原生殖細胞採取の概要

発生ステージ13~16の胚



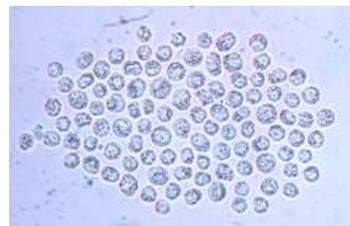
52~58時間
孵卵した種卵



胚の血管に針を刺して血液中を循環する始原生殖細胞を吸い取る



始原生殖細胞を
分離・凍結保存



※始原生殖細胞分離後の血液からDNA抽出→雌雄判別

○凍結保存した始原生殖細胞の生存率

横斑プリマスロック 7~8割

シャモ 6~7割

【研究チームのコメント】

○県産ブランド鶏「はかた地どり」、「はかた一番どり」原種鶏の遺伝資源保存を行うとともに、万々に備えた復元技術の確立にも取り組んでいきます！

(畜産部 中小家畜チーム)